

2026 年度 7 月 栃木県生協連 定例報告

1. 機関会議等

● 7月7日(金) 第1回 常務理事会

【議決事項】

第 1 号議案 専決事項の件

第 2 号議案 「とちぎコープフェスタ in うつのみや 2026」後援 承認の件

第 3 号議案 新事務所移転先住所承認の件

第 4 号議案 2026 年度第 2 回定例理事会(8/4)附議議案承認の件

● 7月13日(月) 第1回 暮らし部会

2026 年度の第 2 回学習会テーマについて引き続き検討することとしました。併せて「第 21 回 うつのみや食育フェア」について、全体テーマ・パネルサイズ・参加者景品・スケジュール等の検討・確認を行いました。

2. 行政関係

● 7月1日(水) とちぎ元気な森づくり県民会議定期総会(参加：須藤事務局)

栃木県公館大会議室にて、2025 年度の活動・収支決算報告、2026 年度活動計画(案)・収支予算(案)、役員改選について報告がされました。総会の後には今後の検討課題として、各団体から現場の実態や問題についての意見や要望が多く出されました。

● 7月15日(水) 第36回 とちぎ食の安心・安全推進会議(参加：塚原副理事長)

今回の推進会議は、「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画(4期計画)」における到達と評価がメイン議題として提示されました。施策ごとの目標値に対する単年度(令和7年度)の達成状況、あわせて4期(令和3年度～7年度)を通した事業の実施状況と評価について協議を行いました。各施策ともに達成状況は「良好」または「概ね良好」、食品等事業者に対する監視指導の充実における「食品検査の実施」のみ未達成の年度が存在しました。この未達成についてはコロナ感染症の影響が背景となっていることから、目標値設定や達成評価(基準)の見直しの必要性が意見として発信され、次年度以降の検討課題とすることが確認されました。

尚、今回の推進会議での協議をもとに、施策ごとの達成状況や評価等を再度精査し、「基本計画(4期計画)に関する報告書」を取り纏め、9月の県議会を経て県民に公表されることが確認されました。

その他、報告事項として「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画(5期計画)」の概要および「令和7年度栃木県食品衛生監視指導計画」の実施結果が報告されました。

● 7月24日(金) 栃木県消費生活安定対策審議会(参加：赤羽専務理事)

令和7年度の消費生活相談状況、第2期栃木県消費者基本計画に係る令和7年度取り組み実績及び第3期(令和8年度～令和12年度)栃木県消費者基本計画に係る主な取り組みについて栃木県生活文化スポーツ部暮らし安全安心課より説明がされました。苦情相談が増えている点検商法や修理トラブルについての対応、高齢者の対策、今年の強化策、教諭に対して教育の充実など要望や質疑を行いました。

● 7月28日(火)とちぎ元気な森づくり県民税事業あり方検討会（参加者：中田会長理事）

7月28日第二回の検討会が開催されました。今回は、県民税事業の現地を視察する会となりました。まず、那須町で実施している森林の若返り事業を視察しました。この事業は、森林協同組合が何人かの地権者組合員から承諾を得て、杉・檜を皆伐し、新しく苗木を植え、5年程度管理して若い苗を成長させるという事業。次に、広大な町所有の山林を皆伐し、若返りさせる事業を見学しました。広範囲に皆伐することで費用効果を上げ、新苗を植えることで持続可能な林業を維持するというもの。新苗、管理に森林税の補助が入っていました。次に、里山の管理をする活動支援でした。放置された竹林が問題となる中、地域のボランティアで伐採や管理をしているまちづくりの団体との交流でした。このような活動をする250からの団体支援をしているとのこと。次は、皆伐ではなく、30%、60%間伐による森林若返りや自然育成などの実験事業をドローン撮影したもので、録画鑑賞視察となりました。思ったことは、栃木県の人口林は伐採期を迎え、若返りが必要となっています。この若返り事業はまだまだ道半ば、というより始まったばかりで継続的にとてつもなく長期にわたらないと栃木の山は荒れるばかりと感じました。支援事業の重要性を強く感じ、森林税がとても有効に活用されているとも感じました。

● 7月28日(火) 日本協同組合連携機構（JCA）ブロック交流会（参加者：加藤事務局）

関東・甲信越・静岡ブロックのJCA会員の事務局が集まり、県域実態調査結果（速報版）、協同組合による若者・子供のための大きな応援団について紹介や、県域連携組織（関東・甲信越・静岡ブロック）の活動報告を行なった後、相互交流を行いました。活動報告では、各県のIYC2025を経ての研修会、交流会企画やイベント等に関する報告がされました。今後のJCA企画の講演会・全国交流会議の告知等がありました。

● 7月30日(木)とちぎ気候変動対策連携フォーラム 第1回セミナー（参加者：赤羽専務理事）

1. 講演 (1) 省エネの余地は、どこにある：株式会社那須環境センター
・エネルギーコスト削減・対策・伴走支援など
(2) SBT認定について：足利銀行 株式会社興建
・温室効果ガス削減目標SBT
(サプライチェーン排出量全体SBT1.2.3＝自社排出SBT1・2、仕入先排出・販売先等SBT3)
2. 栃木県施策：補助金等の紹介

3. 防災

● 7月3日(金) 日本生協連中央地連 大規模災害対策協議会第1回全体会議

（参加：加藤・須藤事務局）

2026年度の協議会委員長の選任承認と新任委員の紹介を行った後、2025年度活動のまとめと2026年度計画報告、全国生協BCPの基本方針、初動チェックリストについて、改めて報告がされました。その他、能登半島支援の取り組み報告や今後のMCA無線訓練、各団体から上がった聞いてみたいこと等について意見交流を行いました。

● 7月9日(金) 栃木県・足利市総合防災訓練 第3回全体会議（WEB参加：加藤事務局）

9月開催の総合防災訓練について、災害対策本部をあしかがフラワーパークプラザに設置して行う本部運営の方法や、各地で行う訓練の内容について最終確認を行いました。6/30に行った現地視察で県担当者と参加団体で確認した内容をもとに、訓練のタイムスケジュール、訓練詳細図（駐車場所兼待機所、各団体の訓練順番、ルート、荷下ろしポイント）等の確認を行いました。その他、Web展示訓練参加団体に向けた情報確認がされました。

- 7月10日(金) 令和8年度 災害ボランティアネットワーク会議 (参加：加藤・須藤事務局)

栃木県社会福祉協議会主催で、県や市町行政、県内の社会福祉協議会や企業・団体が参加し、講演・交流を行いました。「災害時に『活きる』連携 顔の見える関係作りとは」と題して、Office SONOZAKI の代表 園崎氏より講演をいただきました。交流では、実際に災害が起きたと仮定した場合「情報」「物品」「人材」「資金」に分け、出来ること・出来そうなこと・出来るかわからないやってみたいことについて各グループで話し合い、ワールドカフェ方式で発表を行いました。県内の様々な社会福祉協議会やボランティア団体と顔を合わせ交流することが出来、災害時の連携強化につながる場となりました。

- 7月26日(日) 足利市：栃木県南豪雨災害ボランティア (参加：赤羽専務理事)

7月17日から18日にかけて栃木県南部を襲った記録的大雨により、足利市では床上・床下浸水等の被害が発生し、足利市社会福祉協議会では7月19日に災害ボランティアセンターが設置されました。7月26日、栃木県生協連より災害ボランティア(1名)を派遣し、浸水被害が深刻なエリアにおいて、泥のかき出し作業や壊れた家財道具の運び出しなど生活再建に向けた支援を行いました。

4. その他

- 7月2日(火) 日本協同組合連携機構(JCA) 新任研修 (参加：加藤事務局)

2026年度県域連携担当者学習会資料から(1)JCAについて(2)県域連携組織の現状と活動のヒント(3)協同組合員パンフと協同組合員かるたの講義があり、JCA概要、2026年事業計画、IYC2025における全国の取り組みから実践事例の紹介を聴きました。講義後の質疑・応答では、講師から「次世代に繋げるには？」の問いがあり、自分に対応した方「親が組合員様で、お子様が加入された」事例と意見をお伝えしました。協同組合連携を学ぶ機会となりました。

- 7月9日(金) 栃木県協同組合連絡会 「中堅職員学習・交流会」

栃木県内の協同組合間連携をはぐくむ取り組みのひとつとして、「中堅職員」を対象とした学習・交流会を開催しました。講演では、福島大学の小山良太教授を迎え、東日本大震災後の土壌汚染に関する調査を連携して行ったことなどについて、講演をいただきました。

その後の交流会では「連携してできること」をテーマに各テーブルに分かれ、活発な意見交流と全体に向けた発表を行いました。

参加者の9割から「とても良かった」「良かった」との意見があり、「今回限りではなく継続して続けて欲しい」との意見も多く上がりました。



- 7月29日(水) 奨学金オンラインセミナー(ZOOM参加・参加者：赤羽専務理事)

栃木県労福協と中央労金による奨学金オンラインセミナーが開催されました。奨学金の現状と課題、貸与型奨学金利用についての留意点について、弁護士の岩重佳治氏より説明されました。また、ろうきんの奨学金取り組みについて報告がありました。将来の仕事や収入が分からないで借りるリスクや、返還免除制度等について学びました。

● 7月6日(月) 第14回 クリーンアップ・ウォーク

地域への環境活動として、県連事務所付近から宇都宮駅付近までのエリアでゴミ拾い活動を行いました。

<目的>

- (1) 環境美化保全
- (2) プラスチックごみの海洋への流出を防ぐ、生態系配慮
- (3) リサイクル可能ゴミの有効活用、CO2排出削減



ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

● 7月16日(木) 第1回 とちぎ食の安全ネットワーク 学習会《参加：54名》

■演題：「食べものとプラスチックの話」

■講師：ジャーナリスト 日本消費者連盟 顧問 天笠 啓介 氏

プラスチックの原料や特徴、どのようにして日本の生活に浸透してきたか等の歴史、それによって発生する様々な問題や未来に与える影響についてお話をいただきました。最後には、なぜマスメディアが問題を伝えることが出来ないのか、という消費者が感じている疑問についても教えてくださいました。参加者からは、プラスチック製品の多さと環境ホルモンへの影響について初めて知った、先を考えると怖い等、様々な感想があり、自分たちに出来ることは何かについて改めて考えさせられる学習会となりました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

● 7月7日(火) 第2回 とちぎ消費者ネットワーク幹事会

毎年実施している、栃木県消費者行政推進室との意見交換会を開催しました。

- 1、栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課 消費者行政推進室との意見交換会
- 2、「とちぎ消費者カレッジ」進捗状況
- 3、参加団体からの活動報告

● 2026 年度 7 月度 とちぎ消費者カレッジ開催報告

開催日・開催校	講師	演題	人数
7月1日(水) 足利大学 看護学部	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳 氏	悪徳商法防衛術 ～あなたのお財布を守ります～	65 名
7月9日(木) 那須短期大学	栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会 会長 伊藤 延子 氏	賢い消費者になろう ～契約と、さまざまな契約トラブル～	19 名
7月21日(火) 宇都宮共和大学	とちぎ消費生活サポートネット 理事長 白土 美代子 氏	若者の消費者被害の事例から学ぶ対処法 ～こんな相談ありました。消費者被害の未然防止につなげよう～	44 名

栃木県生協連 2026 年 8 月度、9 月度の活動予定

2026 年 8 月 1 日(水)

2026 年 8 月度予定	
3 日(月)	第 15 回 クリーンアップ・ウォーク 栃木県住宅マスタープラン懇談会
4 日(火)	第 2 回 定例理事会 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課との意見交換会
6 日(木)	第 3 回 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
7 日(金)	とちぎカーボンニュートラル実現会議
18 日(火)	とちぎ元気な森づくり県民会議
20 日(金)	とちぎ食と農業アクションプロジェクト推進協議会
31 日(日)	栃木県生協連 生協検査
2026 年 9 月度予定	
1 日(火)	第 3 回 とちぎ消費者ネットワーク幹事会
5 日(土)	栃木県・足利市総合防災訓練
7 日(月)	消費者カレッジ (栃木県立宇都宮中央高等学校 3 学年)
8 日(火)	第 2 回常務理事会 消費者カレッジ (栃木県立宇都宮中央高等学校 1 学年)
10 日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク 第 2 回学習会
15 日(月)	栃木県生協連・くらし部会 学習会 第 2 回 くらし部会
18 日(金)	とちぎ元気な森づくり県民税事業あり方検討会
18 日(金)	～19 日(土) 日本生協連 県連活動交流会
24 日(木)	日本生協連 中央地連 運営委員会
28 日(月)	消費者カレッジ (宇都宮大学動画撮影)

栃木県生活協同組合連合会